

2023年1月19日

特定非営利活動法人

あすみが丘国際交流（AIFS）会員 各位

特定非営利活動法人 あすみが丘国際交流  
理事長 金井 章男

## 第20回通常総会のお知らせ

平素より会員の皆様には、あすみが丘国際交流の活動に対し積極的なご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、2022年度の事業報告、2023年度の事業計画等についてご審議いただく通常総会を、定款に基づき下記の通り開催いたします。

年に1回の最高議決の場ですので、是非議決権行使をお願いいたします。円滑な総会開催に向けて、期限内の出欠票提出等、会員の皆様のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

（同封書類：①議案書 ②出欠票）

お願い

出欠票は、必ず**2月6日（月）までに**次の方法で提出願います。（登録情報確認シート・アンケートなどは裏面にあります）

（ア）FAX（043-294-9551）またはメール（[aifs@eastcom.ne.jp](mailto:aifs@eastcom.ne.jp)）

出欠票本紙は、総会終了後まで保管しておいて下さい。

（イ）AIFS事務所のドアの郵便受けに入れる。

（ウ）ご自宅近くの配付ボランティア自宅郵便受けに入れる。

### 記

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 日 時   | 2023年2月19日（日）午後2時～4時   |
| 2. 場 所   | <u>あすみが丘プラザ 3階集会室</u>  |
| 3. 議 案   | 議案第1号 2022年度事業報告<br>議案第2号 2022年度決算報告<br>議案第3号 2023年度事業計画（案）<br>議案第4号 2023年度活動予算（案）<br>議案第5号 再任役員及び新任役員選任（案）<br>議案第6号 新任役員選任（案） |
| 4. その他   | 報告事項   |
| 5. 持参する物 | 議案書 筆記用具 マスクの着用をお願いします   |

- \* 万一、コロナ蔓延などにより2月19日にあすみが丘プラザが使用できない場合  
その際には、AIFSの事務所にて同スケジュールにて開催いたします。こちらから参加の登録をされた方への連絡は行いますが、皆様もホームページの情報をチェックいただきますようお願いいたします。

以 上

第20回（2022年度）  
特定非営利活動法人 あすみが丘国際交流 通常総会

【式次第】

1. 開会

2. 理事長挨拶

3. 議長選出

4. 書記選出

5. 議事録署名人選出

6. 議事

議案第1号 2022年度事業報告 P1～7

議案第2号 2022年度決算報告 P8～11

監査報告（業務及び会計） P12

議案第3号 2023年度事業計画（案） P13

議案第4号 2023年度活動予算（案） P14

議案第5号 再任役員及び新任役員選任（案） P15～17

議案第6号 新任役員選任（案） P18

7. 閉会

# 議案第 1 号

## 2022 年度 特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人 あすみが丘国際交流

### 1. 事業の成果

今年度の成果で特筆したいことは、10 代、20 代、30 代という若い人のボランティア参加に道をつけたこと、リモート利用の拡大で様々な運用ができたことです。前者は土気高校生、講演者、外国人を合わせて延べ 32 人日となりました。若い人が活動に入ってくると活動に活気が出ますし、そもそもターゲットとする層がやっと入ってきたといえます。後者のリモートはこれからも感染症が続いていくこと、時間の節約が可能になることを考えると、主役である対面の交流に加え、これからの交流の大事な一部分となっていくと考えます。

#### (1) 在日外国人との交流事業

##### (a) 留学生の受入れ企画支援

###### 1 留学生スクールビジット

###### 2 留学生ホームビジット

上記は NPO 法人あすみが丘国際交流（以下 AIFS として略称）の重要活動として、参加する留学生、土気高校生徒、及び地元受入れ家庭が楽しみにしている恒例の国際交流イベントです。

しかし、昨年に続き年初よりコロナ感染が波状的に拡大し、留学生派遣元学校、及び土気高校側とも協議の結果、残念ですが実施見送りとしました。

##### (b) 暮らしのほんごくらぶ運営

あすみが丘の近隣外国人に対し、身近な日本の習慣や年中行事を紹介しながら生活に密着した日本語を教え、地域や学校の会合や行事などに積極的に参加し、日本での生活がより楽しいものとなるよう手助けすることを目的としています。活動は会員ボランティア 5 名を中心に行われ、AIFS の大きな柱として長く続けられています。今年度の日本語学習在籍者の出身地はアメリカ、イギリス、イタリア、中国、タイ、スリランカ、カナダ、フィリピン、台湾となっています。

#### 令和 4 年度の主な活動実績

1. 学習者の能力に合わせ、必要な言葉が理解できるようイラストカードを用いたり、本人の希望に応じ日本語検定（N2/3 レベル）受験対策教材も併用しました。

2. 日常(生活)での悩みなどを聞き精神的なサポートも行いました。

3. 日本語学習者のカースティーさん（英国人）がプラザまつりで幼児向け英語教育のトライアルを行ったが、今後も引き続き幼児向けの教室を続けていくことになった。お互いに教えあうという交流が進んでいます。

4. 対面の授業が難しい状況が続いているのでリモートの授業も大幅に取り入れた。

対面： 延べ 33 人日、 リモート： 延べ 23 人日



## (2) 海外文化等の紹介

コロナ禍のため人を集める企画は中止しました。

## (3) 地域住民との交流事業

### (a) 会員・ボランティア交流会について

コロナ禍において集会等の抑制要請等で今年度の開催を中止することとしました。

### (b) サマーフェスティバル

直前まで準備を進めていましたが、とけサマーフェスティバル実行委員会が医療逼迫を懸念し中止を決定しました。

### (c) プラザ祭り

1年ぶりのプラザ祭り参加でしたが、今回はパネルの展示、会員の手作り作品の展示に加え講演を5本と盛りだくさんで次への期待が持てる内容でした。その一部をご紹介します。

白板のリモート画面

#### ① FSCを進めよう

(FSC 認証とは、持続可能な森林活用・保全を目的として誕生した、「適切な森林管理」を認証する国際的な制度です。認証を受けた森林からの生産品による製品には FSC ロゴマークがつけられます。)

FSC ジャパンのジュニア・アンバサダーである3名にリモートで講義してもらいました。彼らは高校生6名のグループであり97組の応募者グループから選ばれた若者です。リモート会議で利用されている「Zoom」を使って大学受験で忙しい彼らも、参加可能になりました。残念ながら実際当日が受験日であり参加できない学生もいましたが、森を守ることの大切さを訴えるとともに、国際的な枠組みの中ではFSC認証がついた商品を使っていくことでこの目的が果たされることを、強く伝えていました。



#### ② ウィスコンシン州とモン族について

現在、土気高校のALTとして英語を教えている Elizabeth Xiong さんから、出身地のウィスコンシン州とその出自であるモン族についての講演です。リズさんはアメリカ生まれのアメリカ人であるが、モン族3世です。そのモン族は中国・ラオス・ベトナムの国境地帯に住む国を持たない民族ですが、ベトナム戦争の際にアメリカがホーチミン・ルートを叩くために協力させられ、アメリカの敗退後、協力者として虐待されたり殺害されたりしたため、アメリカが彼らを移民として認め、その多くがウィスコンシン州に移住しました。今回の講演でロヒンギャ、ベドウィンなどの国を持たない少数民族が直面する厳しい現実を知ることが出来ました。



講演に先立ち自ら美しい民族衣装を、披露してもらいました。

尚、彼女は千葉大学に半年留学していた経験もあり日本語に堪能なのですが、講演は英語で行い、理事長が通訳を行いました。

### ③ 緑の環・協議会の紹介

理事長を初め、AIFS から数人の会員が参加している、「緑の環・協議会」について、AIFS との関わりを含め、活動内容の紹介を行いました。

「緑の環・協議会」では、違法な山砂採取の土地を水源涵養林として復活させようというプロジェクトを地道にコツコツと活動しています。場所は東急 700 ゴルフ場の隣という、あすみが丘の隣に位置します。

ここでは緑を保全する身近な活動からあすみが丘の SDG s 活動を展開していることを伝えました。

### ④ Loring からハロー

Loring はあすみが丘在住時に AIFS の「くらしのにほんごくらぶ」に通い日本語を学習していたアイダホ生まれのアメリカ人です。今は英国領事館の雇用で都内の高校で A L T の教師をしています。当日は大綱でやっている演劇の舞台の合間に化粧をつけたまま、大綱からリモートで参加してくれました。懐かしい仲間との再会と高校生との軽い英語レッスンを楽しみました。大綱から舞台の合間という隙間時間が生かされたのは、やはりリモートのおかげでした。



### ⑤ フェア・トレード

フェアトレードとは「公正な取引」のこと。開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、立場の弱い生産者の生活改善と自立を目指す運動です。

あすみが丘で昨年 12 月、このフェアトレードを体現した“FAIR TRADE CAFE & SHOP”がプラザの 1 階にオープンし、千葉市初のフェアトレード製品だけを扱うお店です。

“FAIR TRADE CAFE & SHOP”の運営にあたるあすみが丘プラザ指定管理者構成団体のある「特定非営利活動法人はあもにい」は発達及び知的障害児・者が地域や社会の中で生き生きと豊かに実りある生活を送れるよう支援していきたいという趣意のもとに設立された千葉市緑区の NPO 法人です。

### ⑥ 台湾ってどんな国

Bisan Chang (張 碧珊)さんは、最近日本の小池酸素に就職を決め、あすみが丘に住み土気緑の森工業団地に通う台湾人女性であり様々な台湾の側面を語ってもらいました。台湾有事という言葉が新聞を踊っている今、とてもビビッドな紹介であったと思います。彼女は日本語検定 1 級の取得者ですが、日本に住み始めて 1 月足らずで「くらしのにほんごくらぶ」のレッスンを 3 回も受けているという勉強熱心な方で、「お疲れ様でした」と「お疲れ様です」の使い分けなどという質問もされています。今回の講演も 1 級の実力、通訳なし聞き取りやすい日本語で丁寧に語って頂きました。

### ⑦ パネル “世界を見る眼”



この写真コーナーでは、ボランティアに土気高校から陶芸部の 3 人も含め全体で 7 人が担当しました。パネル“世界を見る眼”の説明者と、陶芸作品の売り子、講演の聞き手の 3 役を巡るよう依頼し、その役目を務めてもらいました。講演者も聞き手も 10 代、20 代、30 代の若い人が多く、これから社会に出ていくことを含め、世界とつきあっていかななくてはならない若い人の教育・体験の場の一助として AIFS の活動は役立っていると感じました。

#### ( 4 ) 地域環境保護事業

##### 花いっぱい運動

##### (a) 道路樹花壇

5月 15 日(日)にあすみ大通り 7 丁目信号近くの道路樹花壇に花苗の植付けをボランティア総勢 17 名で実施しました。今回は地元の土気高校から女子生徒 3 名もボランティアに参加。高校生の参加はこれが初めてでした。花苗はガザニア、サルビア、日々草の 3 種類で、計 240 株を 3ヶ所の花壇に植付けました。このうち 200 株は市の公園緑地部より無償提供されました。尚、植付けに先立ち、それ迄植えてあったビオラとノースポールは通行人及び希望者の方に無料配布しました。

また 11 月 13 日に秋冬バージョンとしてノースポール、パンジー、シロタエギクの計\*250 株を植付けました。(※内、約 200 株は市の助成制度を活用し無償配布を受けた。)当日集まったボランティアは総勢 18 名でした。(土気校生 3 名、ALT 英語教師のエリザベス先生を含む) 毎回、植え付け前に担当者中心に雑草抜きや土を掘り起こす作業をしていますが、この作業も多くのボランティアの参加を促せるよう企画したい。

##### (b) 駅前広場フラワーポット

土気駅南口前フラワーポットの春の植え替えを 6 月 11 日に行いました。土気高校生 4 名を含む総勢 17 名のボランティアが参加。

秋の植え替えは 11 月 19 日(土)、11 名のボランティアで行いました。春、秋ともフラワーポットの植え替えは、凡そ 1 時間から 1 時間半ほどの作業でした。

フラワーポットの花植えと水やり管理の参加人数

##### 植替え作業

- ・第 1 回： 6 月 11 日 (土)  
ベゴニア・マリーゴールド 参加 17 名
- ・第 2 回： 11 月 19 日 (土)  
パンジー 参加 11 名

##### 水遣り作業

7 月 12 日～10 月 31 日 毎週 1・2 回実施 延べ 32 名



(5) 地域情報発信事業

(a) 広報誌（ニュースレター）の発行

昨年は、ニュースレターを年4回発行。花いっぱい運動の内容を中心に地域の情報を英語表記も交えて掲載しました。

AIFS のさまざまな活動内容の報告、また、あすみが丘における情報の発信を継続して行きます。

現在の配布方法は次の3つです

- ① 自治会の回覧
- ② Salesforce（会員管理アプリケーション）の一括メール配信により登録会員（271名）には完成次第配信
- ③ ご興味のある方の手に渡るようピックアップ・ポイントを増やしてきました。

AIFS 事務所 あすみが丘プラザ CAFE Relaxin せんだう NAJA ハッピーベッセル  
PEACE COFFEE ビーンズ工房 リオンひまわり パレット ロングス薬局  
双葉外語学校 スリーエイチ日本語学校 土気高校  
土気・越智・土気南・大椎の各中学校

なお、ホームページには過去からのニュースレターが掲載されています。

(b) ホームページ運営

活動予定やその報告、写真、動画を適時に掲載して、AIFS の活動について情報発信を行いました。

現在の広報手段はニュースレター、ホームページ、Salesforce によるメールの一括配信の3種類になっています。

ホームページ「あすみが丘国際交流」のURLは下記の通りです。

<https://www.npo-aifs.org/>

(6) その他第3条の目的を達成する為に必要な事業

無し

## 2. 理事会の管理・運営・活動報告

### (1) 所管官庁である千葉市へ報告

- (a) 事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録
- (b) 年間役員名簿
- (c) 前事業年度の社員のうち 10 人以上の者の名簿
- (d) 役員就任承諾書および住民票

### (2) 法務局・・・以下について登記

- (a) 役員変更・・・・・・・・・・22 年度は無し
- (b) 資産総額の変更・・・・・・・・(4) の公示を厳しくした見返りに 2019 年より不要

### (3) 法人市民税減免願い

均等割りについては毎年願い出が必要（毎年 5 万円）でしたが、収益事業を行うなどの変化がなければ不要となりました。

### (4) 定款 9 章 53 条の変更に伴う実施事項

財務諸表（2021/12 末）をHPにアップロードしました。

これにより官報への掲載費用年間 7 万円を節約



### 3. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	経常増減額(千円)
(1) 在日外国人との交流事業	千葉県国際交流センター、千葉市国際交流協会、千葉大学等の留学生ホームビジット・ステイのプログラム企画支援 ・留学生ホームビジット ・留学生と土気高校生の同世代交流  くらしのほんごくらぶ運営 日本語教室開催 日本の文化紹介、外国人の自国文化紹介等を通じた交流生活に関する情報提供とその手助け ホストファミリー支援	中止 中止  通年	あすみが丘プラザ 他 AIFS 事務所	5名	56名	▲1
(2) 海外文化等の紹介	企画しにくい状況が続いた					
(3) 地域住民との交流事業	・とけサマーフェスティバル出店 ・プラザ祭り	中止 11月27日	あすみが丘プラザ 集会室	44名	会員、地域住民その他	▲39
(4) 地域環境保護事業	花いっぱい運動 ・駅前プラザの花植えと管理 ・道路樹花壇の花植えと管理	6、11月 夏場 15週	土気駅前 あすみ大通り道路樹	85名	会員、地域住民その他	▲39
(5) 地域情報発信事業	・広報誌(ニュースレター)の発行 ・ホームページ運営	通年		7名 1名	会員、地域住民その他 会員、地域住民その他	▲37
(6) その他第3条の目的を達成するために必要な事業	なし					

## 議案第2号

2022年度 活動計算書  
2022年1月1日～12月31日

特定非営利法人 あすみが丘国際交流

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
2. 受取寄附金			
3. 受取助成金等			
4. 事業収益			
事業収益	5,300		
5. その他収益			
受取利息	10,327		
雑収益			
経常収益計	15,627		15,627
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
臨時雇賃金			
人件費計	0		
(2) その他経費			
支払寄付金	25,000		
交通費	7,350		
他経費	90,507		
その他経費計	122,857		
事業費計		122,857	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	120,000		
給料手当			
臨時雇賃金	95,250		
人件費計	215,250		
(2) その他経費			
会議費(総会費含)	108,030		
家賃・水道・光熱費	711,246		
通信・消耗品・交通費他	512,231		
その他経費計	1,331,507		
管理費計		1,546,757	
経常費用計			1,669,614
当期経常増減額			▲ 1,653,987
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			▲ 1,653,987
前期繰越正味財産額			58,723,236
次期繰越正味財産額			57,069,249

事業別損益の状況 (単位:円)

\*他経費: 教材費・食材費・景品代・委託・謝礼費等を含む

科目	在日外国人との交流事業	海外文化等の紹介事業	地域住民との交流事業	地域環境保護事業	地域情報発信事業	其他第3条の目的達成事業	事業部門合計
I 経常収益							
1. 受取会費							0
2. 受取寄付金							
3. 受取助成金等							
4. 事業収益			5,300				
5. その他収益							0
経常収益計	0	0	5,300	0	0	0	5,300
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当							
臨時雇賃金							
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
支払寄付金			25,000				25,000
交通費	1,320			5,630	400		7,350
他経費			19,523	33,629	37,355		90,507
その他経費計	1,320	0	44,523	39,259	37,755	0	122,857
経常費用計	1,320	0	44,523	39,259	37,755	0	122,857
当期経常増減額	▲ 1,320	0	▲ 39,223	▲ 39,259	▲ 37,755	0	▲ 117,557

2022年度 活動 予算・実績対比

(2022年1月1日～12月31日)

(単位 円)

科 目	予算	実績	差異
I 経常収益			
1. 事業収益			
受取会費			0
受取寄付金			0
事業収益計	50,000	0	▲ 50,000
2. その他収益			
受取利息		10,327	10,327
雑収益		5,300	5,300
その他収益計	10,000	15,627	
経常収益 合計	60,000	15,627	▲ 44,373
II 経常支出の部			
1. 事業費			
(1) 在日外国人との交流事業費			
ホームステイ・ホームビジット支援	150,000	1,320	▲ 148,680
留学生との交流企画・支援			
くらしのにほんごくらぶ日本語教室	50,000	0	▲ 50,000
(2) 海外文化等の紹介事業			
世界のくらしシリーズ	0	0	0
(3) 地域住民との交流事業費			
会員・ボランティア交流会		0	0
地域の祭りイベント	250,000	44,523	▲ 205,477
ボランティア登録DBの構築	30,000	0	▲ 30,000
(4) 地域環境保護事業費			
花いっぱい運動・環境教育活動	50,000	39,259	▲ 10,741
(5) 地域情報発信事業費			
広報誌発行・ホームページ運営	100,000	37,755	▲ 62,245
(6) その他第3条の目的を達成するために必要な事業			
(あすみが丘及び周辺地区における国際交流活動の促進			
及び住民同士の親睦と地域文化の向上に寄与する事業)			
翻訳機の性能検証・活かし方検証		0	0
事業費 計	630,000	122,857	▲ 507,143
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	120,000	120,000	0
事務局(臨時雇賃金に該当	240,000	95,250	▲ 144,750
人件費計	360,000	215,250	▲ 144,750
(2) その他経費			
総会費	120,000	108,030	▲ 11,970
家賃(更新料含)	700,000	639,960	▲ 60,040
水道光熱費	60,000	71,286	11,286
備品、消耗品費	160,000	183,730	23,730
通信費、電話	40,000	56,308	16,308
プロバイダー費	30,000	53,693	23,693
交通費	10,000	800	▲ 9,200
貸金庫使用料	16,000	15,840	▲ 160
保険料	20,000	15,050	▲ 4,950
運営事務費	50,000	186,810	136,810
予備費	100,000	0	▲ 100,000
その他経費 計	1,306,000	1,331,507	25,507
管理費 計	1,666,000	1,546,757	▲ 119,243
経常費用 合計	2,296,000	1,669,614	▲ 626,386
当期経常増減額	▲ 2,236,000	▲ 1,653,987	582,013

# 貸借対照表

(2022年12月31日現在)

特定非営利活動法人 あすみが丘国際交流

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	15,856		
普通預金	647,190		
定期預金	48,300,203		
流動資産合計		48,963,249	
2. 固定資産			
県市民債	8,000,000		
長期差入保証金	106,000		
固定資産合計		8,106,000	
資産合計			57,069,249
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		58,723,236	
当期正味財産増減額		△ 1,653,987	
正味財産合計			57,069,249
負債及び正味財産合計			57,069,249

# 財 産 目 録

(2022年12月31日現在)

特定非営利活動法人 あすみが丘国際交流  
(単位:円)

科 目 (満期日)	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金		15,856	
普通預金			
千葉銀行とけ支店		36,409	
千葉興業銀行土気南支店		342,673	
京葉銀行土気支店		268,108	
定期預金			
千葉銀行とけ支店	2023.02.04	14,300,203	
千葉銀行とけ支店	2023.07.04	9,000,000	
千葉銀行とけ支店	2023.06.04	4,000,000	
千葉興業銀行土気南支店	2023.01.25	11,000,000	
千葉興業銀行土気南支店	2023.01.25	5,000,000	
千葉興業銀行土気南支店	2023.12.27	5,000,000	
流動資産合計		48,963,249	
2. 固定資産			
千葉県民債(期間10年)			
京葉銀行土気支店	2031.02.25	8,000,000	
長期差入保証金(事務所敷金)		106,000	
固定資産合計		8,106,000	
資産合計			57,069,249
II 負債の部			
1. 流動負債		0	
流動負債合計			0
2. 固定負債		0	
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			57,069,249

以上のとおり報告します。

2023年1月16日

理事長	金井章男	あすみが丘9丁目 43番地8
副理事長	金子和弘	あすみが丘9丁目 23番地1
理事	寺尾弘	あすみが丘9丁目 9番地3
理事	小幡敏信	あすみが丘5丁目 13番地8
理事	小林芳樹	あすみが丘6丁目 65番地10
理事	坂本裕子	あすみが丘9丁目 38番地6



## 監査報告書

2023年1月8日

特定非営利活動法人あすみが丘国際交流  
理事長 金井 章男 殿

監事 山崎 信行



監事は、2022年1月1日から2022年12月31日までの2022年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び関係した会員ボランティアと意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び関係した会員ボランティアからその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について精査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について精査いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

議案第3号

2023年度 事業計画(案)  
(2023年1月1日～12月31日)

事業名	内容	開催予定日
(1)在日外国人との交流事業	千葉大学、双葉外語学院、3h日本語学校等の留学生受け入れ企画支援 ・会員家庭でのホームビジット ・土気高校生徒との同世代交流 ・スクールビジット企画・支援 リモート会議システム利用による国際交流の活性化	通年
	くらしのにほんごくらぶ運営 毎週木曜日 10:00～12:00 13:00～16:00 AIFS 事務所 ★近隣外国人との交流 ★楽しい日本語教室 季節の行事を通して日本文化を学ぶ 七草粥、節分、雛祭、お花見、七夕 等 ★外国人の自国文化紹介、日本文化紹介 ★生活情報提供と相談・手助け ★留学生の日本文化体験コーディネート ★ホストファミリー支援 ★外国人による外国語教室	
(2)海外文化等の紹介事業	世界のくらしシリーズ	3回
(3)地域住民との交流事業	会員・ボランティア交流会(様々なイベントの都度)	
	サマフェスでの出店と交流ブース ・サマフェスでの子供イベント企画運営	8月
	プラザまつり お祭り広場に参加	11月末
	ボランティア・データベースの運用	通年
(4)地域環境保護事業	花いっぱい運動 ・土気駅前プランターと道路樹花壇の花植えと管理 ・もっとたくさんの花いっぱいをめざして	通年
(5)地域情報発信事業	広報誌(ニュースレター)の発行 ホームページ運営	通年
(6)その他第3条の目的を達成するために必要な事業	なし	

議案第4号

2023年度 活動 予算 (案)

(2023年1月1日～12月31日)

科 目	金 額 (単位 円)
I 経常収益	
1. 事業収益	30,000
受取会費	
受取寄付金	
事業収益	
2. その他収益	10,000
受取利息	
雑収益	
経常収益 合計	40,000
II 経常支出の部	
1. 事業費	
(1) 在日外国人との交流事業費	
ホームステイ・ホームビジット支援	150,000
留学生との交流企画・支援	
くらしのほんごくらぶ日本語教室	50,000
(2) 海外文化等の紹介事業	
世界のくらしシリーズ	
(3) 地域住民との交流事業費	250,000
地域の祭りイベント	
ボランティア登録DBの構築	
(4) 地域環境保護事業費	50,000
花いっぱい運動・環境教育活動	
(5) 地域情報発信事業費	100,000
広報誌発行・ホームページ運営	
(6) その他第3条の目的を達成するために必要な事業	
(あすみが丘及び周辺地区における国際交流活動の促進及び住民同士の親睦と地域文化の向上に寄与する事業)	0
事業費 計	600,000
2. 管理費	
(1) 人件費	120,000
役員報酬	240,000
事務局	360,000
人件費計	360,000
(2) その他経費	
総会費	120,000
家賃 (更新料含)	700,000
水道光熱費	80,000
備品消耗品費	120,000
通信費、電話	40,000
プロバイダー費	55,000
交通費	10,000
貸金庫使用料	16,000
保険料	20,000
運営事務費	110,000
予備費	60,000
その他経費 計	1,331,000
管理費 計	1,691,000
経常費用 合計	2,291,000
当期経常増減額	▲ 2,251,000

## 第5議案 再任役員及び新任役員選任（案）

### 新任の承認

理事	金井章男（再）	あすみが丘9丁目43番地8
	金子和弘（再）	あすみが丘9丁目23番地1
	小幡敏信（再）	あすみが丘5丁目13番地8
	小林芳樹（再）	あすみが丘6丁目65番地10
	坂本裕子（再）	あすみが丘9丁目38番地6
	寺尾弘（再）	あすみが丘9丁目9番地3
監事	山崎信行（再）	あすみが丘6丁目46番地24

理事会は上記に記載の候補者についてはいずれも役員候補者として適任と考えます。

### 任期満了退任 理事、監事

理事	金井章男（再）	あすみが丘9丁目43番地8
	金子和弘（再）	あすみが丘9丁目23番地1
	小幡敏信（再）	あすみが丘5丁目13番地8
	小林芳樹（再）	あすみが丘6丁目65番地10
	坂本裕子（再）	あすみが丘9丁目38番地6
	寺尾弘（新）	あすみが丘9丁目9番地3
監事	山崎信行（再）	あすみが丘6丁目46番地24

## 候補者の自己紹介

理事：

金井章男（現理事長）

コスト削減につきましては「事務所を無しにできないか」という案も何度も検討しましたが実際に踏み切れる案となりませんでした。残念ながら、コスト削減は現実を見据えながらやるしかないことをご理解いただきたいと思います。

一方で下記のような事務作業の効率化を図ってきました。

会計システム Freee の導入・・・・・・・・・・記帳と決算作業の効率化

Salesforce の NPO プログラム（無料）を導入・・・・・・・・名簿管理・メール一斉送信

Jimdo の導入・・・・・・・・・・ホームページ編集とアップの迅速化

複合機の導入・・・・・・・・・・プリンターが壊れたのを機に導入

クラウド・システム導入によるデジタル化を目指してきました。これらの効率化により、コスト削減に加えて、本来の国際交流活動やコミュニティ活動により力を注げるようになったと思います。

GDP で中国に抜かれ、一人当たり GNP でも韓国に負け 21 位に沈んでいるのは周知の事実です。それは国際競争に負けた結果であり、負けた原因を正さない限り負けは続いていくのであり下降傾向も続く可能性が大です。世界を知り世界と共に発展していく基盤を作らなければ世界で戦っていきけません。経済・環境・資源・感染症あらゆるものが国という単位では収まりきらなくなっています。今こそ、若い人達を育て鍛え、我々自身も鍛え直すつもりで、国際交流を当たり前のこととして日常に取り込んでいかなければいけない時です。

金子 和弘（現副理事長）

2023 年度の理事に立候補します。

「NPO 法人あすみが丘国際交流」が目指す「この法人は、在日外国人、留学生に対する各種生活支援や地域住民に対する海外文化の紹介等の事業を通じて、あすみが丘及び周辺地区における国際交流活動の促進と、より住みやすいコミュニティづくりに寄与することを目的とする。」の目標に対して、未だ半ばの状態の中です。

その主たる原因はコロナ禍による渡航制限等の影響で留学生等の交流が途絶えてしまいました。そこで、改めて理事任期の 2 年間で、今まで構築してきた繋がりを復活させ、留学生等を含め、AIFS に関わる人達を一期一会でおもてなしできる環境を構築したいと思います。

小林芳樹（現理事）

あすみが丘に移り住んで 30 年が経ちました。

落ち着いた雰囲気のある街並みに多少満足する一方で確実に住民の高齢化に不安を感じている人も多いのでは？

気づけば、私の近所にも国際結婚カップルや外国人家族が引越して来たりで住民自身の国際化も進んでいます。



来期はコロナ禍で中止を余儀なくされた留学生の地元高校生との交流や、あすみが丘の家庭訪問事業を再開させたい。また、従来の外国人住民の日本語教室に加えて、幼児、小学生を対象とする英語プレイルームを企画してみたい。

小幡敏信（現理事）

小幡敏信は、2023年、2024年続けて、理事に立候補します。

みのりあるあすみが丘国際交流の企画をもっと編み出していきますので今後もどうぞよろしくお願い致します。

寺尾弘（現理事）

この2年間の活動を振り返るとコロナ禍で思うような国際交流活動ができず歯がゆい思いをしてきました。一方、インターネットを介した語学教室を始めたり、先のプラザ祭りの中で中国モン族出身アメリカ籍先生の歴史観や日本で働く台湾人の今の台湾の話、また、Forest Stewardship Council (FSC) で活動する若者たちの話など聞くことができ、様々な世界観に触れることができました。これからの日本はやはり国際交流を礎に発展していく必要があると改めて感じました。これまでの活動、特に若者が参加できる活動を活性化し、コロナに打ち勝ち実施していけるようにしていきたいと理事に立候補します。

坂本裕子（現理事）

今年度、立候補させていただく坂本裕子です。昨年、一昨年は主にニュースレターの編集と事務所の仕事をして参りました。国際交流という名のNPOが何をしていくべきか、今一度考え活動に携わりたいと思います。

監事：

山崎信行（現監事）

二期監事務めさせて頂きました。今期も初心に戻り、NPO法人の定款に基づき適正かつ公正に当該あすみが丘国際交流の運営の監査に務めます。

## 第6号議案 新任役員選任について

理事への立候補が中岡八重子会員よりありましたので、その所信表明を掲載します。然し乍ら、理事会としては同氏の提案が過去から一貫してあすみが丘国際交流の定款目的を大きく逸脱して受け入れられません。本法人の目的は第3条の「この法人は、在日外国人、留学生に対する各種生活支援や地域住民に対する海外文化の紹介等の事業を通じて、あすみが丘及び周辺地区における国際交流活動の促進と、より住みやすいコミュニティづくりに寄与することを目的とする。」です。また理事会との折衝経緯等を総合的に勘案して理事立候補者として不適任と考え別議案とさせていただきます。

\*第6議案についてご質問等ある場合は、aifs@eastcom.ne.jp にメールでお尋ねください。

中岡八重子

シーモアとの交流を始めてから 30余年

私たちを取り巻く環境は大きく変わりました

インターネットで世界の誰とでも交流出来るようになった一方で

世界第二位の経済大国だった日本は 今や GDP では 中国の三分の一

国民一人当たりの GDP に至っては 韓国にも抜かされています

高齢化社会が進み 地球温暖化に伴う異常気候は年を追うごとに激しさを増しています

多くの方が活動に参加してこそ 国際交流に意義があるはず

残念ながら 現状は かなり 望んだ状況にはないと 思います

会員の総意を 把握し それを どのように 現実化出来るのか考え実行するのが

役員の仕事と 私は考えます

是非 総会に出席して 皆さんの ご意見を お聞かせください

私たちの拠出した 一億二千万は 現在 六千万を切っております

このまま 今までどうり 資金を使い果たしてよいのか お聞かせください